

2025年度

芝国際高等学校

学校案内パンフレット付属資料



SHIBA KOKUSAI
SENIOR HIGH SCHOOL

理想の社会を生徒が創る

Building your future

本校が目指す教育のゴールは、理想の社会を生徒が創ることです。生成AIなど科学技術の進歩によって社会もどんどん変化していきます。進化する科学技術に振り回されるのではなく、むしろそれらを使いこなしながら、人類と地球全体の幸せに貢献することができるチカラを身につけます。

3つのステップで、実社会の課題に挑戦する

🔍 課題を発見し、解決へ導く力を育む

STEP 1 「貢献」の視点を育む探究学習

- 1 課題を発見し、課題解決を行いながら思考力・判断力・表現力、協働する力に加えて構想力を養います。問題に挑戦し、突破していきます。
- 2 生徒自らがワクワクする想いのもと、起業に向けて自発的に行動・挑戦していきます。
- 3 他者と一緒に自らが創りたい理想の世界に貢献できる人を目指します。

FOCUS

Critical Thinking and Designを学ぶ

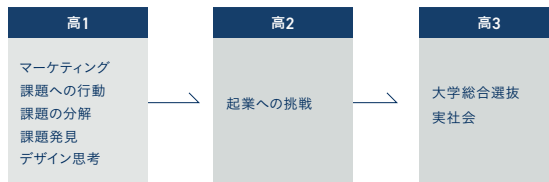
本校では、探究学習をはじめ、各教科のさまざまな場面において、Critical & Design Thinkingを学びます。マンダラチャートやマインドマップ、ブレインストーミング、KJ法、シックスハットといったいくつかの「考える手法」で思考を整理。クラスメイトと意見を交わしながら課題を解決する経験を積み上げていきます。

👥 コミュニティーづくりを体感する

STEP 2アントレプレナーシップを育む学び

- 1 マーケティングの基礎を学び、自ら企画するものが世の中に求められるのかを調査します。
- 2 自己理解を深めるとともに、他者の巻き込み方を学び、分析する過程でコミュニティーのあり方、つくり方を学びます。
- 3 一人ひとりがリーダーとなり、フォロワーとなり、互いに高め合うことができるつながりを形成します。

アントレプレナーシップを育む学びの全体像



📈 フォロワーを集め、起業の実現

STEP 3 起業学習のループリック

- 1 2年間の学びをベースとした「自らの貢献のカタチ」を社会に発信していくために、ステークホルダー（フォロワー）を集める大会を開催します。
- 2 フォロワー（投資的な支援や共同開発者）の心を動かし、想いを実現するための第一歩となる舞台を経験します。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	他者・多者との協働 他者の行動の変容と貢献
第3段階	事業を創造するためにMVPを作成しモノ・サービスをブラッシュアップし続けることができる	自らの価値観のもと、想い（なぜ私がやりたいのか）／誰の何を／どう解決するのかを言語化・具現化してアウトプットすることができる	課題解決法（モノ／サービス）をもとに誰かの日常の行動の一部分を変えることができる
第2段階	事業を創造するためのアイデアを言語化／具現化することができる	課題を解決するアイデアをプレゼンテーションとしてまとめ、次のステップのためのフィードバックがもらえる	フォロワーをさらに増やすことができ、何らかの方法で社会に発信することができる
第1段階	事業を創造するために何が必要かアイデアを出すことができる	自らの価値観やつくりたいセカイ、解決したい問題を言語化することができる	自らが創りたいセカイをつくるためのフォロワーをつくること

世界標準の学び

A global standard of learning

一つの解が存在しない課題に対して周囲と共に最適解を構築し、自他の幸福を追求するコンピテンシーを培います。

世界で活躍する力を育てる

自ら学ぶ姿勢を育む

スクールルーブリック

「スクールルーブリック」をもとに各教科の評価軸を設定し、生徒と教員が授業のゴールを共有。目的意識を持って学ぶ習慣を身につけます。

思考力・表現力などは、評価の根拠を言葉で明示し、学びへのモチベーションを継続させます。

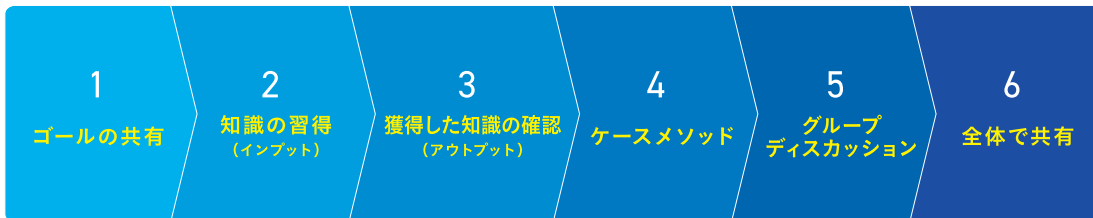
■ 芝国際中高のスクールルーブリック

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	他者・多者との協働 他者の行動の変容と貢献
第3段階	獲得した知識・技能を使って 論の発展に寄与する	新慣習 自ら提起した慣習を推進できる	世界・宇宙 社会を越えて、世の中に行動の変容を起こすことができる
第2段階	知識・技能を獲得=知識・技能が使える	脱慣習 これまでの議論から、自ら新たな提起ができる	社会 隣人を越えて、社会に行動の変容を促すことができる
第1段階	知識・技能を理解する	慣習 これまで議論されてきた内容を踏まえている	隣人 身近な隣人に行動の変容を促すことができる

未来の問題を解決する力を身につける

対話形式授業

授業内でのディスカッションやプレゼンテーションを繰り返すことにより、論理的思考力やコミュニケーション力、プレゼン力を高めます。



確かな学力

Pursuing academic excellence

解なき問いに挑む際、誤った知識では最適解を導き出すことができません。
インタラクティブな授業を主としながら、正確な知識のインプットをフォローします。

目指す進路を実現する

知識・技能を定着させる

チェック&フォロー体制

「わかったつもり」と「実際にできる」をしっかり区別する学習システム。授業前のチェックと放課後のフォローを徹底する芝国際だからこそ、弱点をつくらないプログラムで安定した成績を支えます。

	月	火	水	木	金	土
8:15 ↓ 8:30	朝読書など	Check 英	朝読書など	Check 数	朝読書など	Check 国
15:15 ↓ 15:30	数 Follow	終礼・清掃	英 Follow	終礼・清掃	国 Follow	特別講座 部活
16:00	終礼・清掃		終礼・清掃		終礼・清掃	
16:15	部活動 (~ 18:00) 芝国際塾 (中学)・芝国際予備校 (高校)					

大学受験に向け十分な学習時間を確保

大学合格へと導く学び

大学入試に必要な学習単元は授業内にチェック。理解不足の生徒には、その場でアドバイスを加えます。その効果的な学習メソッドにより、「中間・期末」に当たる定期試験の必要性がなくなりました。その結果、定期試験の準備に費やす期間が劇的に短縮され、1学年で約50日を通常授業として費やすことが可能となり、大学入試演習の時間を十分確保することができるようになります。

■ 中間・期末がある学校

高1	50日	高2	50日	高3
----	-----	----	-----	----

■ 芝国際高等学校

高1	高2	100日	高3
----	----	------	----

100日分多い入試演習

芝国際の教員が教えるので、進捗度が共有できる!

放課後サポート

■ 芝国際予備校 (高校) ※希望者のみ

自習室: 15:45 ~ 20:10 授業: 18:20 ~ 19:10 / 19:20 ~ 20:10

最難関国公立大・私立大を目標とする生徒を対象に、大学の過去問題を取り入れた授業を行います。1~6限の授業と放課後の予備校で受験までを完結させていくことが本校の方針です。

合格のその先を見据えた

東大セミナー・難関大セミナー・医学部セミナー

受験への心構えや合格につながる学習法を伝えるセミナーです。例えば東大セミナーは、セミナーをきっかけに志を高く持つというねらいもあります。東大を目指すには、文系理系関係なく6教科8科目に向き合うことが必須。最終的に志望校が変わっても、東大を視野に入れた学習は生徒の強みになります。医師を目指す志を育むセミナーも実施予定。医学部の面接試験では、医療や社会の問題にどれだけ目を向けているかも評価されます。医学部に入るためだけの学びでなく、医学部入学後を見据えたプログラムを目指します。

■ 東大・早稲田・シニアチューター

東大生、早稲田生、シニアのチューターが交代で常駐。勉強のサポートはもちろん、ロールモデルが近くにいることで、学びへの意欲が高まります。

■ スタディサプリ (授業動画)

1~6限の授業の不明点や、自分のペースで先に進みたい分野は、授業動画で復習・予習を行います。確認テストがあるので、理解度チェックにも役立ちます。

■ Studyplus (スタディプラス)

1~6限の授業や芝国際塾・芝国際予備校の学習内容を記録し、一人ひとりの学習状況や学習習慣を把握。教員と生徒のコミュニケーションツールとしても活用しています。

そして世界へ

The world is yours

真の国際人とは、自分の幸せはもちろん、さまざまな人や生きとし生けるもの全てと協働・共生することで身近な人から世界の幸せにまで貢献できる人だと考えています。6年間で一度は海外に行き、世界を感じてほしいと、研修・留学のチャンスを豊富に用意しています。

グローバル教育

芝国際流

グローバル教育とは

本校のグローバル教育は「多様な考え方や価値観を理解する」ことに重きを置いています。さまざまな国に行くことや、語学力を身につけることだけが最終目標ではありません。本校では、自分の目で見て感じる機会を多く設けることによって、自ら行動を起こすことのできる生徒を育てます。

FOCUS

芝国際流グローバル教育とは？

- 1 コスモ（心の教育）を基盤に、多様な考え方や価値観を知る
- 2 探究活動やアントレプレナーシップ教育で学びを深めたうえで現地を訪れ、実社会での取り組みを体感する
- 3 多くの人と話し、共通点や相違点を知り、文化を学び相手を受け入れる

外国人教員も多数在籍

日常的に英語に触れられる環境

本校には、常勤の外国人教員も多数在籍しており、授業以外でも、校内ですれ違った教員と生徒が英語でコミュニケーションを取る姿が見られます。日々の学校生活の中で“みんな違って当たり前である”ことと同時に“みんな同じ人間である”ということを感じ、外国人教員と話すことへの壁がなくなっていきます。異なる文化・社会・宗教・環境のもとで育ってきた教員の視点に触れることも、生徒たちにとって思考を深め、気づきを得る貴重な経験となります。

次の行動へのステップとなる

海外留学プログラム

※2024年度実施のもので今後、変更の可能性があります。

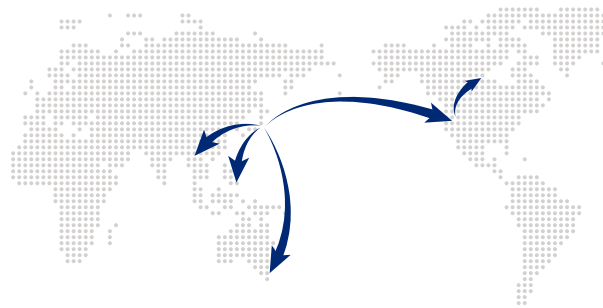
- オーストラリアターム留学 (3ヶ月)
- サンフランシスコ研修 (1週間)
- ニュージーランドターム留学 (3ヶ月)
- アジアSDGs研修 (1週間)
- UBC Future Global Leaders (2週間)
- セブ語学研修 (2週間)
- トロント大学 Youth IEP (3週間)

NEWS!

タスマニア州政府国際教育課 (GETI) と『教育連携に関する覚書』を締結

国際教育における協力関係を強化するため、学校としては国内唯一、GETIと覚書を締結しました。生徒や教員、学校職員のグローバルコンピテンシーの育成強化に寄与するプログラム開発や、短期カリキュラム、語学研修、異文化体験などにおいて連携していきます。

※各プログラムは、世界情勢により変更になる可能性があります。



そして未来へ

The future is yours

文理融合のデータサイエンス

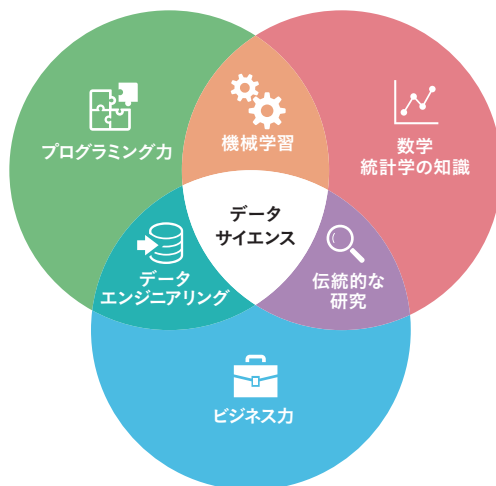
テクノロジーを基盤とするSTEAM教育

本校では文系・理系の枠にとらわれない、AIやビッグデータといった科学技術のリテラシーを身につけ、データサイエンスを習得する文理融合の学びを実践しています。また、あらゆる方向に対してテクノロジーをベースにしたSTEAM教育を展開します。今、地球上はまさにデジタルワールド。さまざまな分野の発展はインターネットの存在なくして実現していません。だからこそ、まずはテクノロジーを身につけることが世界標準の学びにつながると思います。数学もサイエンスも、アートの分野もテクノロジーによって可能になることが格段に増えます。

FOCUS

実社会と共通のツールや題材で学ぶ

本校のSTEAM教育で特に重視しているのは、実社会と同じツールを使って学ぶということです。学習用のツールをいくら使いこなせても実社会では活用できません。そのため本校ではExcelをはじめ、実社会で使われているツールを採用。売上データを題材に分析するなど、常に社会課題と紐付けながら学習していきます。



生徒の好奇心を育む

最先端の技術と機会が充実

校舎の共有スペースに生徒が自由に使うことができる3Dプリンターを設置するなど、最先端の技術に触れ、チャレンジできる環境が充実。誰かが生み出すのを待つのではなく、自分で挑戦・行動・突破する楽しさを知る。それが生徒の好奇心が芽生える第一歩となり、イノベーションを起こす情熱が生まれます。社会への貢献とは、言い換えれば人々が幸せに暮らすためのものを「生み出す」ということ。本校ではSTEAM教育を通して、全てのイノベーションの始まりとなる「好奇心」を育てていきます。

FOCUS

ロボットづくりや宇宙産業の学びにチャレンジ

生徒たちにSTEAM教育の最先端を体験してもらいます。2023年度は、バルーンを成層圏まで打ち上げ、観測をおこないました。学んだことを活かして実際にロボットを動かすなどの体験は、生徒たちの好奇心を刺激させます。

エンジニアカルチャーと学び合い

本校では、一人一台のICT機器やネットワーク環境を整備。学校を通して全員がデバイスPCを持ち、1年生から授業の中でPCを日常的に使うことでPCの扱いに慣れていきます。教科書通りに取り組むのではなく、得た知識をもとに自分でチャレンジ。疑問や失敗にぶつかったら、クラスメイト同士で教え合いながら解決していきます。このように思考する時間を繰り返し、自分の力にしていける体験を本校では「エンジニアカルチャー」と呼んでいます。自分の挑戦したいと思うことを見つけ、行動するためのスキルを段階的に高め、突破できるマインドを養成する。知識を得るだけで完結しない、10年後の働く姿を見据えた「自走心」を育むのが、本校のICT教育の特徴です。

ICT教育の流れ

STEP 1

生徒たちに「エンジニアカルチャー」の種を植える

Excelに触れるところからスタート。さまざまな関数や機能を使って取得した情報を分析し、可視化する力を身につけます。

STEP 2

Adobe ツールを用いた実践

PCを使ってできることが増えてきます。そこで第2ステップとしてAdobe ツールを用いて画像や動画の編集をするなど、実践的にチャレンジする機会を増やしていきます。

STEP 3

プログラミングを使ってやってみようことにチャレンジ

より自由度を持たせ、簡単なゲームアプリやホームページなど、ひとつのものを最後まで作りきることに挑戦します。

夢の実現

Realizing our dreams

夢を実現させるための準備は、中学生の段階からスタートします。日頃の深い学びの積み重ねで、進路実現力を育みます。希望する進路を切り拓くための挑戦をつづけ、目標に向かって行動し、突破すること。それが、夢の実現につながるステップとなります。

2025年度募集コース

中学校の段階から将来を見据え、一人ひとりの夢を実現に導く2つのコース。知識をインプットするだけでなく、得た知識を活用して世界・社会に貢献できる人材育成を目指します。

最難関選抜コース

STEAM教育と世界標準の教育をバランス良く行います。大学入試では文理選択はありますが、教育内容としては文系脳も理系脳も育成していきます。国公立大学、早稲田・慶應・上智・東京理科大・ICU・医学部・海外大学などを目指します。

国際コース

十分な英語力があり、さまざまなバックボーンを持つ生徒が対象のコースです。授業のうち、英語・数学・理科・社会は英語で行います。HRクラスはインターナショナルエデュケーターによって英語で運営されます。大学進学は海外大学や国内の英語を中心とした入試を持つ難関・最難関大学を想定しています。



全国レベルの模試で 学習成果を測る

STEP
1

本校では、模試も意識して日頃の授業を行います。その結果で学習成果を測ることや、全国レベルの自分の立ち位置を知ることが目的です。一般的な試験期間に集中して勉強するだけでなく、日頃から学びの定着を重視することで、幅広い進路の実現を目指します。



担任と進路指導担当が一体となる 一人ひとりに寄り添うための 「カンファレンス」

STEP
2

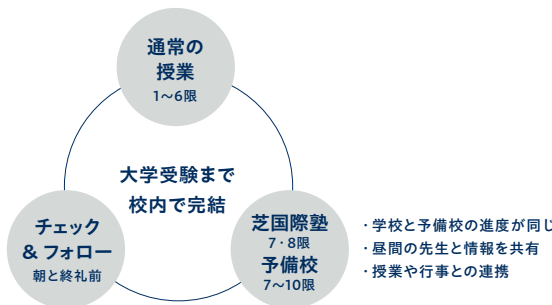
模擬試験終了後、学年ごとに担任と進路指導担当が集まり、カンファレンスを実施。模試の結果をもとに、科目の中でどの部分に弱点があるのか分析し、今後の課題を教員全体で共有し、指導にあたります。



大学受験勉強は校内で完結! 基本の完成度を高める学習

STEP
3

本校では、1~6限の授業で「基本の完成度を高める」ことを重要視し、放課後サポートで受験対応力を身につけます。基本=教科書の内容ではありません。基本=原理原則を徹底的に理解することです。「なぜそうなるのか」を理解することは、教科への興味関心やモチベーションを高めることにもつながります。それが最終的に、進路実現の結果として現れます。



FOCUS

海外大学受験も強気にサポート

SAT対策講座 (高校)

SATはアメリカなどの大学を受験する際に必要となるテストです。本校では放課後に希望者を対象に対策講座を実施し、一人ひとりの目標に合わせて指導します。

海外大学への進学をサポート

「UPAS海外大学進学協定校推薦制度」は、高校在学中に海外大学の英語要件をクリアすることで、語学学校を経由せずに海外大学へ直接進学する仕組みです。(一般的な海外進学で求められるSATやエッセイが基本的には不要)

UPAS協定大学

アメリカ (50校)

- Grand Valley State University
- Queens College, CUNY
- San Francisco State University
- University of Massachusetts, Dartmouth

ほか

イギリス (9校)

- University of York
- University of Essex
- City, University of London
- University of Westminster

ほか

オーストラリア (9校)

- Griffith University
- University of Sydney
- University of South Australia

ほか

カナダ

- Simon Fraser University
- University of Manitoba

ほか